日揮IRサイトのご紹介

当社ホームページでは、株主の皆様に当社のことをよりよくご理解いただくためにニュースリリースはじめ、各種IR資料を掲載しております。

http://www.jgc.com/jp/05_ir/index.html

日揮90周年特設サイトのご紹介

2018年10月25日、当社はおかげさまで、創立90周年を迎えました。
当社90年の歩みを特設サイトに掲載しております。

▼スマートフォン用サイトもご用意しております

http://www.jgc.com/jp/90th/index.html

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK

JGC 日揮株式会社

証券コード：1963

第123期 株主通信

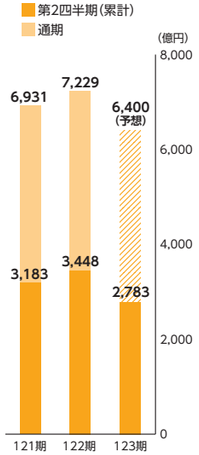
2018年9月期 2018年4月1日～2018年9月30日

決算ダイジェスト（連結）

売上高

123期
2,783億円
第2四半期
（累計）

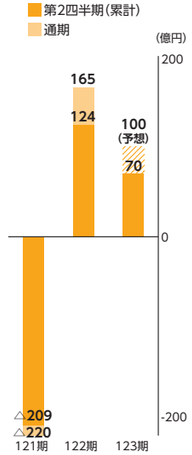
122期
3,448億円
第2四半期
（累計）



親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

123期
70億円
第2四半期
（累計）

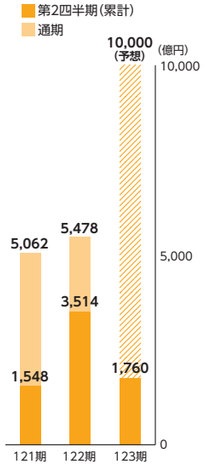
122期
124億円
第2四半期
（累計）



受注高

123期
1,760億円
第2四半期
（累計）

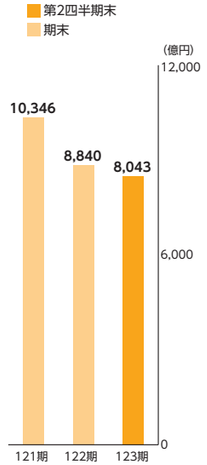
122期
3,514億円
第2四半期
（累計）



受注残高

123期
8,043億円
第2四半期末

122期
8,840億円
期末



※契約金額の修正・変更および為替変動による修正を加えております。

代表取締役会長
Chief Executive Officer
佐藤 雅之

代表取締役社長
Chief Operating Officer
石塚 忠

ご挨拶

株主の皆様には、日頃から日揮（JGC）グループをご支援いただき、心から御礼申し上げます。ここに、2018年9月期（2018年4月1日～2018年9月30日）の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

日揮グループを取り巻くマーケット環境は、原油価格の安定的な推移、新興国の人口増加および経済成長に伴うエネルギー需要の拡大を背景に、産油・産ガス諸国において設備投資計画を再開する動きが出始め、全体としては改善しつつあります。当社ジョイント・ベンチャーグループに受注内定していた受注総額1兆5,000億円を超えるカナダにおける大型LNGプラント建設プロジェクトが、2018年10月に顧客の最終投資決定がなされたことを受け、いよいよ動き始めました。本プロジェクトを成功裏に完遂すべく、全社を挙げて取り組んでいく所存です。

当社は、2018年10月に、おかげさまで創立90周年を迎えました。今後も、日揮グループは、経営理念である「世界を舞台に、技術と知見を結集して、人と地球の豊かな未来を創ります」のもとに、事業領域の拡大を一層推進し、日本のみならず世界各国の経済成長、産業発展、ひいては人類の持続的成長に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

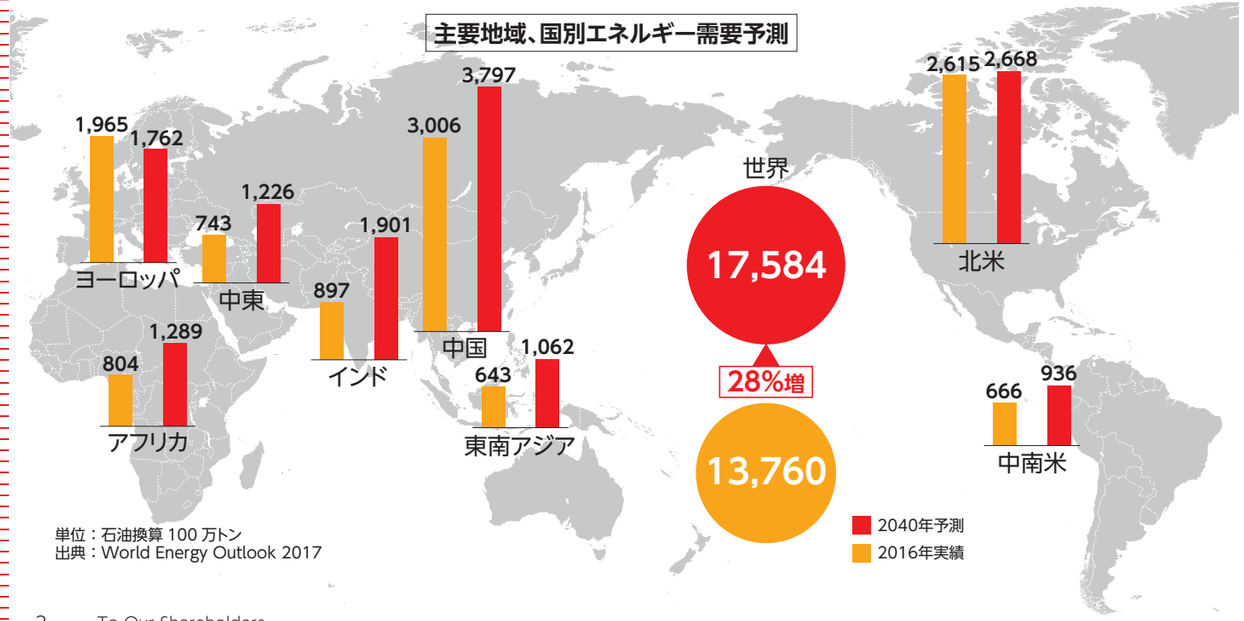
株主の皆様へ

業績報告

プラントマーケットは、2016年以降の原油価格の安定的な推移を受けて、産油・産ガス諸国において設備投資計画を再開する動きが出てきており、日揮（JGC）グループを取り巻く事業環境は、全体としては改善しつつあります。今後も、産油・産ガス諸国における自国内の人口増加および経済成長に伴うエネルギー・電力需要への対応、ならびに外貨獲得を目的としたエネルギー輸出の拡大を背景として、大型のオイル＆ガス案件等の設備投資計画の着実な進展が期待されております。

日揮グループとしては、中国をはじめとするアジア圏における需要拡大を背景に計画再開の動きが出てきた大型LNG（液化天然ガス）案件ならびにLNG以外のオイル＆ガス分野およびインフラ分野における優良案件の受注に向けた営業活動を行うとともに、既受注案件においては、プロジェクトの確実な遂行に全社を挙げて注力いたしました。

このような取組みのもと、日揮グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,783億円、営業利益103億円、経常利益159億円、親会社株主に帰属する四半期純利益70億円となりました。また、同累計期間における連結受注高については1,760億円となりました。



業績拡大に向けた取組みを加速

コアビジネスであるEPC（設計・調達・建設）事業では、日本国内をはじめ東南アジア、中東、アフリカ、北米、ロシア・CIS等において受注活動に取り組み、2018年5月には、カナダにおける大型LNGプラント建設プロジェクトを受注し、同年10月には顧客による本プロジェクトの最終投資決定が行われました。なお、受注金額の計上は当期第3四半期を予定しております。また、同年8月には、ナイジェリアにおけるLNGプラント拡張プロジェクトの基本設計役務を受注いたしました。また、プロジェクトの受注および遂行力のさらなる強化に向けて、同年4月には、プラント建設地での工事遂行が困難なLNGプロジェクト等に有効なモジュール工法において、高いモジュール製作能力を持つ中国海洋石油工程股份有限公司（COOEC社）と協業に合意し、同年5月には、数多くの案件が計画される米国市場での共同受注・遂行を目的に、メキシコ湾岸地域で豊富な実績を持つ米国の建設会社S&B Engineers and Constructors, Ltd.（S&B社）と協業に合意いたしました。さらに、LNGプラントの生産性向上に向けて、同年8月には、AI・IoTを活用したHot Air Recirculation予測システムの構築を目指し、マレーシア国営石油会社との協業に合意いたしました。

加えて、水素エネルギー社会の実現に向けた取組みとして、水素エネルギーキャリアとして有望視されているアンモニアの製造に関して、新規アンモニア合成触媒を用いたアンモニア合成プロセスの実証試験装置を福島県に建設し、同年5月より実証試験を開始いたしました。

今後も、当社過去最高となる通期受注目標1兆円の達成に向けて全社を挙げて注力するとともに、EPC事業における確実な利益創出を目指し、受注済みプロジェクトの遂行に邁進してまいります。

ロシアで遂行中のLNGプラント建設プロジェクト

特集

カナダで大型LNGプラント建設プロジェクトを受注

―巨大プロジェクトが遂に始動―

本プロジェクトは、ロイヤルダッチシェル社がリーダーとして推進する、カナダ国内で産出される安価で豊富な天然ガスをカナダ西海岸において液化し、アジア等に輸出するプロジェクトです。本年10月に、当社にとって過去最大級の受注金額で受注し、今後の当社の業績拡大に向けたキープロジェクトとなります。

プロジェクト成功の鍵は建設工事にあり、現地労働者の単価が非常に高いカナダに建設される本プロジェクトにおいては、カナダ現地の工事を最小限に抑えるため、現地で全てのプラントを建設するのではなく、アジア各地で分割して製作したプラント設備（モジュール）を大型船で建設現場へ運び、ひとつのプラントに組み上げるモジュール工法を採用します。当社は、ロシア北極圏で遂行中のヤマルLNGプラント建設プロジェクトやオーストラリアで建設したイクシスLNGプラント建設プロジェクトで培ったモジュール工法の知見を最大限活用し、2020年代半ばの本プロジェクトの完工に向けて全社一丸となって取り組んでいきます。

プロジェクトの概要

プロジェクトの建設地

建設場所:
カナダ ブリティッシュコロンビア州
キティマット地区

契約の概要

契約先	LNGカナダ社
契約	総生産量約1,400万トン（年産700万トン×2系列）の天然ガス液化設備に係るEPC（設計・調達・建設）役務
契約形態	ランプサム（一括請負）契約
受注額	総額約140億米ドル。そのうち当社受注額は約56億米ドル（1米ドル＝113円換算で約6,300億円）
納期	2020年代半ば

LNG分野のトップコントラクターとして

石炭に比べ環境への負荷が小さいLNGは、環境問題への対応が喫緊の課題となっている中国や東南アジア諸国を中心に需要が飛躍的に高まっており、北米、アフリカ、アジア、オセアニアで数多くのプラント建設が計画されています。

世界のLNGプラント全生産量のうち、約30％のプラントの建設実績を有している当社は、これまでに遂行してきたLNGプロジェクトの知見を結集し遂行していくとともに、今後もLNGプラントのトップコントラクターとして積極的な営業活動を展開し、拡大が期待される世界のLNG計画の実現に貢献してまいります。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科　目	前期末 (2018年3月31日現在)	当第2四半期末 (2018年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	521,320	515,111
固定資産	163,600	165,946
有形固定資産	55,222	55,457
無形固定資産	9,766	10,042
投資その他の資産	98,612	100,446
資産合計	**684,921**	**681,058**

科　目	前期末 (2018年3月31日現在)	当第2四半期末 (2018年9月30日現在)
(負債の部)		
流動負債	215,773	206,780
固定負債	73,368	73,225
負債合計	**289,142**	**280,006**
(純資産の部)		
株主資本	397,955	401,600
その他の包括利益累計額	△ 3,253	△ 1,554
非支配株主持分	1,077	1,005
純資産合計	**395,779**	**401,051**
負債純資産合計	**684,921**	**681,058**

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科　目	前第2四半期(累計) 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日	当第2四半期(累計) 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日
売上高	344,845	278,321
売上原価	320,121	257,757
売上総利益	24,724	20,563
販売費及び一般管理費	11,201	10,252
営業利益	13,522	10,311
営業外収益	5,005	6,037
営業外費用	582	389
経常利益	17,945	15,959
特別利益	87	250
特別損失	607	225
税金等調整前四半期純利益	17,424	15,984
法人税等	4,891	8,808
非支配株主に帰属する四半期純利益	125	124
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,407	7,050

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科　目	前第2四半期(累計) 自 2017年4月 1日 至 2017年9月30日	当第2四半期(累計) 自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,354	△ 45,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,633	△ 2,543
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,062	△ 8,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,057	21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 18,992	△ 56,285
現金及び現金同等物の期首残高	185,603	235,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	166,610	179,109

主要プロジェクトの状況（2018年9月30日時点）

こんなところにグループ会社の技術が!!

日揮グループの技術力を活かした製品が私たちの身近なところにあることをご存じですか？

エンジニアリングビジネスをメインビジネスとしつつ、グループとして製造事業を展開する企業グループは世界的に見てもほとんど例がありません。日揮のグループ会社の中にはユニークな製品群を創り出し、皆様の生活を支える会社があります。

機能材製造事業を手掛ける3社の製品をご紹介します。

JGC C&C 日揮触媒化成株式会社

4K・8Kテレビディスプレイ

高画質4K・8Kテレビのディスプレイを支える日揮触媒化成の技術!

高画質で話題の４K・８Kテレビ。テレビの映りをより良くするためにディスプレイに使用されている反射防止材「中空シリカゾル」を日揮触媒化成が製造、販売しています。

JFC 日本ファインセラミックス株式会社

サンメディカル技術研究所製

補助人工心臓“EVAHEART”

日本ファインセラミックスの技術が補助人工心臓の中核を担う!

病気により機能が衰えた心臓を温存した状態のまま取り付け、心機能を代替する装置である「補助人工心臓」。人の生命に関わる血液ポンプのコア部分に日本ファインセラミックスが開発したセラミックスが使われています。

日揮ユニバーサル株式会社

空気清浄機

日揮ユニバーサルの特殊技術で空気清浄機の性能向上に貢献!

空気中に浮遊する塵埃、花粉、ハウスダスト等を除去する機器である空気清浄機。空気清浄機内に設置されているフィルターに日揮ユニバーサルが開発した製品が採用されています。

日揮（JGC）グループ

当社、当社子会社50社および関連会社35社からなる日揮グループは、各種プラント・施設の計画、設計、建設、試運転役務に関する事業ならびにこれらに附帯する機材調達、検査・保守に加え触媒・ファイン製品の製造・販売等を営んでいます。

各事業における当社および主要なグループ会社の位置づけは、以下のとおりです。

▶総合エンジニアリング事業

設計・調達・建設

- ■ 日揮プラントイノベーション株式会社
- ■ JGC SINGAPORE PTE LTD（シンガポール法人）
- ■ JGC PHILIPPINES, INC.（フィリピン法人）
- ■ PT. JGC INDONESIA（インドネシア法人）
- ■ JGC Gulf International Co. Ltd.（サウジアラビア法人）
- ■ JGC Gulf Engineering Co. Ltd.（サウジアラビア法人）
- ■ JGC OCEANIA PTY LTD（オーストラリア法人）
- ■ JGC America, Inc.（米国法人）
- JGC Vietnam Co., Ltd.（ベトナム法人）
- JGC Algeria S.p.A.（アルジェリア法人）

検査・保守

- ■ 青森日揮プランテック株式会社

プロセスライセンシング

- ■ 日揮ユニバーサル株式会社

▶機能材製造事業※

- ■ 日揮触媒化成株式会社
- ■ 日本ファインセラミックス株式会社
- ■ 日揮ユニバーサル株式会社

▶その他の事業

原油・ガス生産販売事業等

- ■ JGC Exploration Eagle Ford LLC（米国法人）
- ■ JGC EXPLORATION CANADA LTD.（カナダ法人）
- ■ JGC（GULF COAST）, LLC（米国法人）

機器調達

- 日揮商事株式会社
- JGC Italy S.r.l.（イタリア法人）

発電、造水事業

- ■ JGC-ITC ラービグユーティリティ株式会社
- ■ 日揮みらいソーラー株式会社

オフィスサポート

- ■ 日揮ビジネスサービス株式会社

コンサルティング

- ■ 日本エヌ・ユー・エス株式会社

■ 連結子会社　■ 関連会社で持分法適用会社　2018年9月30日現在

※第1四半期連結会計期間より、「触媒・ファイン事業」から「機能材製造事業」へ名称変更しております。

会社概要（2018年9月30日現在）

●設立　1928年10月25日
●資本金　235億円
●従業員数　（連結）7,803名
（単体）2,312名
●上場証券取引所　東京証券取引所（市場第1部）
●主要な事業所および事務所等

本社　〒220-6001
神奈川県横浜市西区みなとみらい
二丁目3番1号
電話 045-682-1111

研究所　技術研究所（茨城県）

事務所　国内　大阪事務所
海外　北京、ヤンゴン、バンコク、ジャカルタ、パース、アブダビ、ドーハ、バスラ、バグダッド、モスクワ、アルジェ

●取締役

代表取締役会長 Chief Executive Officer	佐藤 雅之
代表取締役社長 Chief Operating Officer	石塚 忠
代表取締役	山﨑 裕
取締役	赤羽根 勉
取締役	佐藤 諭志
取締役	古田 栄喜
取締役	寺嶋 清隆
取締役	鈴木 正徳
取締役	村元 徹也
社外取締役	遠藤 茂
社外取締役	松島 正之

●監査役

監査役	牧野 幸博
監査役	伊勢谷 泰正
社外監査役	森 雅夫
社外監査役	大野 功一
社外監査役	高松 則雄

●執行役員

副社長執行役員 Chief Project Officer	山﨑 裕※
副社長執行役員	赤羽根 勉※
専務執行役員	佐藤 諭志※
専務執行役員	古田 栄喜※
専務執行役員	北川 均
専務執行役員 Chief Financial Officer	寺嶋 清隆※
常務執行役員	山﨑 憲一
常務執行役員	鈴木 正徳※
常務執行役員	阿部 茂
常務執行役員	林 晃光
常務執行役員	奥田 恭弘
常務執行役員	藤井 丈夫
常務執行役員	吉田 明朗
常務執行役員	村元 徹也※
常務執行役員	秋鹿 正敬
執行役員	西口 久和
執行役員	小林 信裕
執行役員	雨宮 徹
執行役員	遠藤 方泰
執行役員	田中 裕次
執行役員	松岡 孝哉
執行役員	山崎 亜也
執行役員	山口 康春
執行役員 Chief Digital Officer	花田 琢也
執行役員	川崎 剛
執行役員	山岸 正
執行役員	石崎 裕幸
執行役員	利根 睦人
執行役員 Chief Technology Officer	山中 裕
執行役員	山本 克毅
執行役員	山田 昇司
執行役員	杉山 光
執行役員	広瀬 岳彦
執行役員	桜井 宏司
執行役員	会田 守志

※取締役兼務

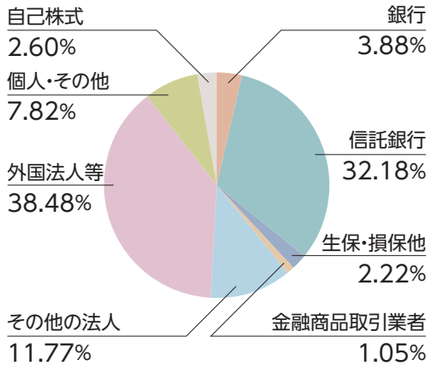
株式の状況（2018年9月30日現在）

●株式数　発行可能株式総数　600,000,000株
発行済株式総数　259,052,929株
●株主総数　15,141名
●大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	31,067	12.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	21,987	8.71
日揮商事株式会社	12,112	4.80
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A／C AMERICAN CLIENTS	8,700	3.44
公益財団法人日揮・実吉奨学会基本財産口	8,433	3.34
株式会社三井住友銀行	5,500	2.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	5,170	2.04
JP MORGAN CHASE BANK 385632	4,177	1.65
資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	3,797	1.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	3,762	1.49

注1. 持株数は千株未満、持株比率は小数点第３位以下をそれぞれ切り捨てて表示しております。
注2. 当社は自己株式6,745千株（2.60%、第６位）を保有しておりますが、上記表中からは除外しております。
注3. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

●株式の分布状況



※小数点第3位を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部　東京都府中市日鋼町1-1 お問合せ先：0120-232-711 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号　三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 インターネットアドレス：https://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告の方法	電子公告により、当社ウェブサイト（http://www.jgc.com/）に掲載します。 なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。
証券コード	1963